

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名 : いしぶちどうろ 一般国道397号 石淵道路	事業区分 : 一般国道	事業主体 : 岩手県
起終点 : 自 岩手県奥州市胆沢区林尻 至 岩手県奥州市胆沢区谷子沢	延長 : 7.3km	
事業概要 : 一般国道397号は、岩手県大船渡市を起点とし、奥州市を經由して秋田県横手市に至る総延長143kmの路線である。石淵道路は、奥州市胆沢区内で事業が進められている胆沢ダム建設事業と連携し、幅員狭小、線形不良の隘路を解消し、通行車両及び歩行者の安全確保を目的とした延長7.3kmの2車線道路である。		
H5 年度事業化	都市計画決定なし	H6 年度用地着手
全体事業費 : 32億円		事業進捗率 : 98%
計画交通量 : 4,300台/日		供用済延長 : 4.0km
費用対効果分析結果	総費用 : (残事業)/事業全体 5.2/56億円 (事業費 : 0.58/45億円 維持管理費 : 4.7 /10億円)	総便益 : (残事業)/事業全体 57/75億円 (走行時間短縮便益 : 50/ 69億円 走行経費減少便益 : 6.0/ 6.1億円 交通事故減少便益 : 0.41/0.41億円)
B/C : (事業全体) 1.4 (残事業) 10.8		基準年 : 平成19年
事業の効果等 : ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車すれ違い困難区間を解消） ・他のプロジェクトとの関係（胆沢ダム建設事業） 他5項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 : 地元（奥州市）などから早期の整備を強く要望されている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 : 特になし		
事業の進捗状況、残事業の内容等 : 平成15年度に中間部（2.5km）を部分供用しており、平成19年11月には起点部（1.5km）を供用し、事業進捗率は約98%で全線に渡り事業が進捗している。主な残事業は橋梁1橋と改良舗装である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 : 平成20年度の完成を目指し事業の推進を図る。		
施設の構造や工法の変更等 : 構造物形式の見直しや、再生骨材及び再生アスファルト合材の使用により、コスト縮減に努めている。		
対応方針 : 事業継続		
対応方針決定の理由 : 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。